

## 新 石川県庁 災害対策本部 様

県の災害対策のために、最新のシステムを導入。徹底した情報の共有化を実現するために、表示機には EIZO の LCD を選定。

石川県新県庁舎の災害対策本部室に入ると、モニターがずらりと並んでいる光景が目を引く。正面の大型スクリーンに加え、出席者が情報を効率的に共有できるようにと、各席にEIZOの15型LCD FlexScan L365が設置され、各自手元で同じ映像を見られるようになっている。



平成15年の石川県庁の移転に伴い、災害に強い県庁舎を目指し「石川県総合防災情報システム」と「災害対策本部室」が整備された。同災害対策本部室には28台のモニターが設置されている。隣接するAV操作室に集められる各種映像情報が、災害対策本部室正面のスクリーンと各席のモニターに分配表示される。大まかな情報は正面のスクリーンでも問題なく見られるが、詳細な情報は手元で見ることで、より効率的に情報の共有化が図られる。

### 細かい部分まで手元ではっきりと見られる

「他県では、見づらい映像を見やすくする工夫として、テーブルの中央にプラズマモニターを設置しているところもありますが、それでもやはり細かい部分までを各自が見るには遠いですし、指さしても分かりませんからね」と石川県消防防災課の大垣氏。移転前は、会議室に持ち込んだモニターの画面を出席者全員で見るなどしていたが、やはり細かい情報を見るには不都合を感じていた。そこで、「県庁移転

に際し、県の災害対策のために考えられる限り最新のシステムを整えました。」（大垣氏）



AV操作室



## 他県の災害対策部門からも 見学に

各席にモニターが設置されるなど、ここまで整備された災害対策室は他県には例が無いということで、他県の災害対策部門からの関心も高い。また、一般の見学コースにも含まれるこの災害対策本部室には、多いときで1日7、8組の見学者が訪れ、やはりモニターが並んだ光景には驚かれるという。

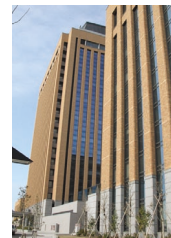
同システムは無線にも繋がっており、直接県警のヘリコプターに連絡をして指示することもできる。また、テレビ会議などにも活用できるということである。



## 情報で一番大事なのは映像です からね

EIZOモニターを導入してみて、大垣氏は、「EIZOのモニターは本当に画質が良いので、細かい情報も手元ではっきりと見ることができますね。いつも見ていて綺麗な、と思います。災害対策では同じ情報を見ながらでなければ話が進みませんから、このように同じ映像を手元でもみられるということは重要なんです」と話す。「やはり、情報で一番大事なのは映像ですからね。」(大垣氏)

常にリアルな情報を有効に活用し、住民の安全のために最善を尽くす。石川県の強い意志が感じられた。



新 石川県庁 災害対策本部

平成15年1月に移転した県庁舎は「行政庁舎」「警察本部庁舎」「議会庁舎」からなり、石川県行政の中心部となっている。災害情報等がリアルタイムに映し出される大型マルチスクリーンが備えられているなど最新のシステムが導入された災害対策本部室は防災拠点として重要な施設である。

株式会社ナナオ 〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地

東京 (03) 3455-7701 名古屋 (052) 232-7701  
大阪 (06) 4807-7707 福岡 (092) 715-7706  
北陸 (076) 277-6790 営業2部 (076) 277-0064

[www.eizo.co.jp](http://www.eizo.co.jp)

EIZOは(株)ナナオの世界統一ブランドです。



古紙リサイクル率100%再生紙を使用しています



2003年4月作成